

私が、富士の麓・河口湖畔の富士レークホテルに嫁いで、もう17年が過ぎようとしています。一昨年は富士山が世界文化遺産に登録され、お陰様で富士北麓地域は国内外のお客様で賑わっており、おもてなしの最

が、時代の変化に呼応して新しいチャレンジをどの思いで、16年前から、ホテルのバリアフリー化に取り組んでいます。館内へのスロープの設置、バリアフリートイレの増設、専用貸切風呂への入浴リフトの設置、

んも、妊婦さんも、海外の方も、どのような方にも快適な空間となるユニバーサルデザインの追及です。また主人の母が、長年精神障がい者雇用に力を注いできたこともあって、スタッフの心の中にも助け合いの文

多くの喜びの声をいただけるようになり、それは私たちの更なる前進の原動力となっております。

平成23年には、内閣府よりバリアフリー・ユニバーサルデザイン大臣表彰優良賞をいただき、身が引き締まる思いしております。そして何よりも、日本女子大学社会福祉学科で学ばせていただいた「フーマライゼーションの理念」を生かせる場を与えられ、今改めて、大学での素晴らしい教えが、現在の私を導いてくれていると実感し、日々感謝いたしております。これから、様々なお客様の幸せの実現のために、心からのおもてなしに励んでまいりたいと思っております。

前線で働くことは、大変やり甲斐のある仕事であると感じている毎日です。富士レークホテルは昭和7年に主人の祖父が創業し、宿泊・パーティー・宴会・会議と幅広いニーズにお応えするホテルとして長い歴史を刻んできました

貸出し備品の充実、刻みやペーストなど展開食の対応等々。また、3回にわたる既存客室改装により、全74室のうち23室がバリアフリー対応となりました。ここで配慮したことは、健康な方も障がいをお持ちの方

化が根付いていたことも幸いし、ハード・ソフト両面のユニバーサル化が実現してきています。今まで旅行を諦めていた方々からも「初めて旅先で温泉に入れました」「車いすの家族と一緒に思い出作りができました」といった

新35回) (昭和60年社会福祉学科卒)

河口湖からのメッセージ

全てのの人に旅の楽しみを...

井出 薫子

